

2021 年度  
ミス・パリ・ビューティ専門学校

自己評価報告

2022 年 4 月

学校法人ミスパリ学園  
ミス・パリ・ビューティ専門学校

## 2021年度 自己評価について

学校法人ミスパリ学園が運営するミス・パリ・ビューティ専門学校は、東京都豊島区池袋に2010年4月に開校しました。

本校の前身となるミスパリエステティックスクールは、32年の歴史があり、エステティック教育においては、常に先進的な理論と技術を教授し、その授業時間も300時間、1,000時間と増やすことにより、カリキュラムを充実させてきました。また学生がより興味と意欲を持って学習する環境を構築するため、2014年度入学生から選択コースを実施しております。

専修学校として再スタートを切る際には、全国でもあまり類を見ない2年間で2,085時間という非常にハイレベルのカリキュラムを編成し、即戦力人材の育成に注力し、有為な人材を関係業界だけでなく他分野にも多数輩出してまいりました。

また、エステティックだけでなく、厚生労働大臣の指定を受けた美容学科も併設し、総合的な美容のプロフェッショナルを育成する美に特化した専修学校であると自負しております。美容師国家試験における高合格率の実績は、教育が充実している証と考えております。引き続き100%の合格率を目指し教育の充実を図ってまいります。

これからも本校の教育理念である「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を基本とし、教育内容の更なる充実を図り、日本のみならず世界で活躍できる人材育成に向け、教職員一同努力してまいります。

以下にあるとおり2021年度の自己評価の取り組み状況をご報告いたします。

自己評価の目的は、本校に関する各項目を教職員が客観的に評価することにより、改善点を見出し、更に実践的な教育プログラムを充実させることにより、学生はもとより教職員の質の向上に資するものです。

学生が卒業後も活躍できる環境の醸成に向け、今後も引き続き、企業や業界団体の皆様のご理解、ご支援を賜りたいと存じます。

1. 評価実施期間

2021年4月1日～2022年3月31日

2. 実施方法

(1)校長以下、副校長、学年主任、教育課主任が中心となり、各教職員が連携して評価を行う。

(2)評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にしている。

(3)評価は、年度終了後速やかに行い、年1回行うこととする。

(4)評価結果は、学校関係者評価委員に報告するとともに、現状と今後の改善、解決に向けた取り組み等を公表することとする。

3. 自己評価の項目

(1)教育理念・目標      (2)学校運営      (3)教育活動      (4)学修成果

(5)学生支援      (6)教育環境      (7)学生の受入募集      (8)財務

(9)法令等の遵守      (10)社会貢献・地域貢献

4. 評価項目に対する評価

評価は5段階とし、

5：良好      4：適切      3：ほぼ適切      2：やや不適切      1：不適切

以上

## 2021年度 ミス・パリ・ビューティ専門学校 自己評価表

### 1. 学校の教育目標

本校の教育理念「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を念頭に、学校法人ミスパリ学園としての自覚と自負の下、「充実した教育課程」「学生獲得」「就職確保」の3本柱を全教職員の力で全うし、わが国トップクラスのトータルビューティの専門学校を目指す。

### 2. 本年度に定めたい重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1) 教育の質の向上、魅力的で楽しく、充実した内容の授業を行う。講師の評価制度を確立する。
- 2) 募集定員の確実な達成を図る。
- 3) 学生の遅刻・欠席をなくし、進級率 90%を達成する。
- 4) 学生の体力、人間力の向上を図る。
- 5) 働くことの意義を理解し、社会で活躍できる人づくりを行う。
- 6) 即戦力になる人づくりを行う。
- 7) 学園（姉妹校4校）の協力により、相乗効果を上げる取り組みを行う。

### 3. 自己評価

良好…5      適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1

#### (1) 教育理念・目標

|   | 評価項目  | 評価 | 前年度 |
|---|---|----|-----|
| 1 | 学校のビジョン及びそれを実現するための方針を策定しており、かつ、教職員に理解されているか            | 5  | 4   |
| 2 | 特色ある学校づくりを進めるために、求められる仕事及び求められる人間性を明確にし、学校独自のカラーを出しているか | 5  | 5   |
| 3 | 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生や保護者等に周知されているか              | 5  | 5   |
| 4 | 目標に対する評価を年度内に実施し、その結果を教職員に周知するとともに、次年度の目標につなげているか       | 5  | 4   |
| 5 | 教育目標、育成人材は学科等に対する社会のニーズに向けて方向付けられているか                   | 5  | 4   |

### 課題

- ・オンライン授業に関しては、対面授業と同等若しくは繰り返し復習できることから、それ以上の学修成果が得られた。今後も授業の工夫を行うことにより、更に学生が理解しやすい内容の構築を行っていくこと。
- ・学生が実社会に出た時に、それぞれの環境に合わせた業務の遂行ができるように、柔軟な思考と能力を身につけさせる指導を行うこと。

### 取り組みと結果

- ・未だ続いているコロナ感染の拡大防止策の一つとして、理論科目におけるオンライン授業の実施と実技科目の対面授業の併用運営を計画的に実施した。教育の成果として全て対面授業を行っていた時と同等の資格取得率と就職実績を残す事が出来ている。

### 今後の課題と改善事項

- ・対面で行う授業時間が減ってしまったせいなのか、本校の特色であるマナーの指導が弱くなったと感じている評価者がいた。対面式授業の時間を学生と職員が直接コミュニケーションを取れる貴重な時間と捉えて、より充実をした授業の実施と学生にその目的が明確に伝わるような指導をして行く事が課題である。

## (2) 学校運営

|   | 評価項目                                    | 評価 | 前年度 |
|---|---|----|-----|
| 1 | 事業計画等に沿った運営方針が策定されているか                  | 5  | 4   |
| 2 | 学校運営などに学生の意見が反映されているか                   | 4  | 4   |
| 3 | 地域社会への貢献の一環として、学校施設を地元に開放しているか          | 4  | 4   |
| 4 | 地域との協力関係が確立されているか                       | 4  | 4   |
| 5 | 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されていて、有効に機能しているか | 5  | 4   |
| 6 | 人事・給与等に関する規程等は整備されているか                  | 4  | 4   |

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 7  | 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか              | 4 | 4 |
| 8  | 教職員の健康診断を実施しているか                            | 5 | 5 |
| 9  | 各種システム化等により業務の効率化が図られているか                   | 5 | 4 |
| 10 | ホームページは、適宜更新し、見やすくしているか                     | 5 | 5 |
| 11 | 学校評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、改善計画を策定しているか | 5 | 5 |
| 12 | 学校運営及び評価の結果を学校関係者以外に、何らかの方法で公表しているか         | 5 | 5 |

#### 課題

- ・ 学生管理システムの機能を、さらに活用できるように教職員の運用スキルを向上させること。
- ・ コロナ禍においても学生及び教職員が安全に授業のできる環境を構築すること。
- ・ 在校生の増加にともない、校舎設備の改修が必要になる為、優先順位を考慮して計画的に対応を進めること。

#### 取り組みと結果

- ・ 2年前の学生管理システム導入時に比べ、多目的にわたる活用が出来てきたと感じている。  
具体的には在校生へのアンケートの実施、連絡事項の周知、授業レジュメの配付及び各種証明書類の発行などである。システムを通して業務効率の向上を実感している者が多くなった。
- ・ 校舎の改修は適宜行っている。

#### 今後の課題と改善事項

- ・ コロナの影響もあり、地域社会とイベントを通じた関わりが限定的な状況になっている。感染の拡大防止に留意しながら出来る限り以前のように、親交を深められる機会を設ける。
- ・ 学校の情報発信ツールとしてホームページを開設している。より臨場感のある情報を外部へ周知をするために、SNS 動画による学内授業やイベントの取り組みに関する情報発信を強化する。

(3)教育活動

|    | 評価項目  | 評価 | 前年度 |
|----|---|----|-----|
| 1  | 教育課程は、教育理念・教育目標と一貫性がある内容になっているか                 | 5  | 5   |
| 2  | 定期的に教育課程の評価を組織的に行い、時代の要請、変化にあったものに修正しているか       | 5  | 4   |
| 3  | シラバス（授業計画書）は、学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致しているか        | 4  | 4   |
| 4  | 効果的な授業運営を図るため、適切に時間割を調整しているか                    | 5  | 4   |
| 5  | 授業内容や指導方法が学生レベルに合うよう工夫・改善しているか                  | 5  | 5   |
| 6  | 学生に修了認定のための評価基準と方法を公表しており、かつ、評価は公平性・妥当性が保たれているか | 5  | 5   |
| 7  | 評価結果による教員面接・指導が行われているか                          | 5  | 5   |
| 8  | 未修了科目の原因分析を教員側と学生側とで実施し、対応策を講じているか              | 5  | 5   |
| 9  | 資格対策に個々の学生にあった指導・援助を実施するなど、教職員一丸となって取り組んでいるか    | 5  | 5   |
| 10 | 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか            | 5  | 4   |
| 11 | 教職員のスキルアップのための研修を行っているか                         | 5  | 4   |
| 12 | 研修や出張で学会等に参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがあるか              | 5  | 4   |
| 13 | 教職員の授業を他の教職員、または外部関係者が参観、講評できる制度があるか            | 5  | 4   |
| 14 | 教職員による自己評価が定期的に行われているか                          | 5  | 5   |
| 15 | インターンシップ等を利用して、職業選択について深く考える契機を提供出来ているか         | 4  | 4   |

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| 16   | 関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 5 | 4 |
| <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験対策として、定期考査以外に小テスト・チェックを実施し、合格基準に満たない学生には課題提出や補習授業を行うこと。また、不合格となる理由の多くは衛生取扱い審査及び筆記試験の合格点未達であるため、1年次から細かい指導を行うこと。</li> <li>・コロナ禍でインターンシップが実施できない企業もあるため、学内の行事やオープンキャンパス等のイベント、サービスマナーの授業などから接客の基本をしっかりと教育すること。</li> <li>・オンラインと対面式の授業を組み合わせることで指導・教育を行う中であっても今までと同等かそれ以上の教育効果が得られるように実施方法を検討・改善すること。</li> </ul> <p><b>取り組みと結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験においては、今年度も100%の合格を達成する事が出来なかった。しかし、筆記試験については十分な指導を積み重ねてきたので、受験者全員が合格をする事が出来た。残念ながら実技科目では、衛生取扱い審査不備として、不合格者が出てしまった。</li> <li>・接客の基本となるサービスマナーの指導強化は、3級検定受験者が全員合格するレベルまで引き上げる事が出来た。</li> </ul> <p><b>今後の課題と改善事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験の不合格理由が、衛生取扱い審査の不備であった。事前に何度も模擬試験を繰り返して、指導の強化を図っているが、受験者全員の合格結果に結びついていない。試験本番当日を平常心で迎えることができるように、メンタル面を強化する指導が必要である。</li> <li>・コロナ禍で外部の講習会に頻繁に参加する事が中々できない難しい状況ではあるが、少しでも情報の収集に努めて、積極的に教員のスキルアップを図って行きたい。</li> </ul> |   |   |   |

#### (4) 学修成果

|   | 評価項目                          | 評価 | 前年度 |
|---|-------------------------------|----|-----|
| 1 | 学生の就職に関する目標を設定したか。またその成果は十分か  | 5  | 5   |
| 2 | 学生の資格取得目標を設定し、その結果検証をおこなっているか | 5  | 5   |



|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| 3  | 中途退学者を少なくする工夫・努力をしているか                      | 5 | 4 |
| 4  | 卒業生の就職先での評価を把握し、問題点を明確にしているとともに、その改善策を講じている | 5 | 4 |
| <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学科就職率 100%を達成させるために、早期での就職活動を促していくこと。目安となるのは例年通りエステティシャン志望の学生は7月末まで、それ以外の学生は前期末までに目標を達成させる。また、時期が早いだけではなく、内定辞退や離職につながらないように、仕事や社会人の心構えを身に付けさせる教育の強化を図ること。</li> <li>今までより細かく、学生に関する教職員間の情報共有及び保護者とのコミュニケーションを取り、学校と家庭双方で学生を支え、進級率と卒業率の向上を図ること。</li> <li>美容師国家試験合格率 100%達成の為に、緊張感を持たせた指導を行うこと。</li> </ul> <p><b>取り組みと結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就職に関しては両学科共に 100%を達成する事が出来た。しかし、就職内定の時期に関して、美容学科の1名が卒業間近の内定となってしまった。本人が希望する美容室の選定そのものが遅れてしまった事が原因であった。</li> <li>退学率の減少の為に小まめな指導を行ってきたが、多少の改善傾向はみられたものの、大きく目標値を超えることが出来なかった。</li> <li>美容師国家試験の結果は 97.2%で、1名が実技試験の不合格となってしまった。</li> </ul> <p><b>今後の課題と改善事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きコロナ禍の状況も鑑み、早期就職内定を決めていく事が目標である。具体的には、トータルビューティ学科は7月末までに、美容学科は12月末までの全員内定を目指す。</li> <li>退学者を出さない為に、学生の自己肯定感を高める指導とコミュニケーションを図っていくこと。学生から「辞めたい」と言わせない教育を各教員が心掛ける。</li> <li>美容師国家試験については、受験生全員の合格を目標とする。</li> </ul> |   |   |   |

(5) 学生支援

|   | 評価項目                         | 評価 | 前年度 |
|---|------------------------------|----|-----|
| 1 | 学生の心身面での健康管理体制が整っている         | 5  | 5   |
| 2 | 学生生活、進学、就職に関して学生の相談に十分応じているか | 5  | 5   |

|   |                                  |   |   |
|---|----------------------------------|---|---|
| 3 | 学生のクラブ活動やボランティア活動などの自主活動を支援しているか | 4 | 4 |
| 4 | 災害など非常時の危機管理体制が整っているか            | 5 | 4 |
| 5 | 奨学金等の経済的支援があるか                   | 5 | 5 |
| 6 | 学費減免、学費分納制度があるか                  | 5 | 5 |
| 7 | 学生寮を保有、または紹介をしているか               | 5 | 5 |
| 8 | 卒業生への再教育、または就職支援体制はあるか           | 5 | 5 |
| 9 | 社会人のニーズを踏まえた教育環境は整備されているか        | 5 | 5 |

#### 課題

- ・池袋寮・西日暮里寮の老朽化にともない、設備の修繕頻度が上がってきていることから、大規模な改修や修繕工事等を検討すること。
- ・学校生活において、コミュニケーション不足による様々な不安を抱えている学生を細かくフォローし、引き続き外部の団体等とも相談を行い、学生をサポートすること。
- ・社会人を対象としている各学科、コースや各種の指定講座については、年間計画を作成し、入学時期や開講条件等を整備すること。

#### 取り組みと結果

- ・寮に関しては、必要な修繕等その都度対応をしてきている。大きな修繕工事などについては引き続き検討する。
- ・コミュニケーションが苦手な学生を、周囲の学生が受け入れやすくなるように、教員が環境を整えてきた。しかし、学生自身が積極的な姿勢になる事は中々見受けられない為、様々な手法を駆使する必要がある。
- ・社会人対象のコースについては、残念ながら希望者はいなかった。

#### 今後の課題と改善事項

- ・社会人に向けた広報活動を充実させ、入学希望者を増やしていく。
- ・各種奨学金制度は充実しているが、その手続き方法などについては、限定的な窓口担当となっているので、職員全体が制度を理解し、学生対応の充実を更に図っていく。

(6) 教育環境

|  | 評価項目                                  | 評価 | 前年度 |
|--|---------------------------------------|----|-----|
| 1  | 教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい教材が整っており、活用されているか | 4  | 4   |
| 2  | 施設・設備等の定期点検、補修等について適切に対応しているか         | 4  | 4   |
| 3  | 教職員・学生に防災研修・教育を行っているか                 | 5  | 5   |
| 4  | 学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか              | 5  | 5   |
| <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クリネスを指導すると共に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の観点からも衛生面（消毒）の徹底を図ること。</li> <li>・ 学生が学びの集大成として、作品や技術が披露できる行事の実施を企画すること。</li> <li>・ 施設・設備について更なる環境整備を心がけ、より充実した教育が行えるようにすること。</li> </ul> <p><b>取り組みと結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内清掃及び消毒に関して、学生の衛生意識は高まっている。しかし、学校外での行動については問題意識が薄くなる傾向があるので、自己防衛の徹底を図る必要がある。</li> <li>・ コロナ禍にあって大々的な行事の実施は難しかったが、オンラインによる開催や作品の出版などを行う事は出来ていた。</li> <li>・ 故障している機材は修理をし、廃棄が必要なものについては新しいものを購入し、教育環境の整備を図った。</li> </ul> <p><b>今後の課題と改善事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在校生が増えた事から、より学校施設としての充実が求められている。必要なものには可能な限り設備投資を行っていく。</li> <li>・ 集団で纏まって何かをする事はまだ難しい環境下にあるが、少しずつ在校生が行える行事増やしていきたい。</li> </ul> |                                       |    |     |

(7) 学生の受入募集

|   | 評価項目                  | 評価 | 前年度 |
|---|-----------------------|----|-----|
| 1 | 学生募集計画があるか。また成果は十分か   | 4  | 4   |
| 2 | 学校案内等には育成人材像が明示されているか | 5  | 5   |

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 3  | 学校案内等には目指す資格・検定試験等が明示されているか            | 5 | 5 |
| 4  | 学校案内等には学費・教材費が明示されているか                 | 5 | 5 |
| 5  | 入学（予定）者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか | 5 | 5 |
| <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学科、募集定員を達成すること。</li> <li>コロナ禍の影響により、今後も引き続きオンラインでの入学希望者の対応をしていくことが予想されることから、学校の魅力が最大限に伝わる演出やシナリオを構築すること。</li> </ul> <p><b>取り組みと結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トータルビューティ学科については定員達成をする事が出来た。美容学科は定員に対して75%の充足率となった。</li> </ul> <p><b>今後の課題と改善事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>従来の対面式オープンキャンパスとオンラインの併用運用によるイベントの強化に加え、学校の魅力を伝える動画配信に注力をする。</li> <li>トータルビューティ学科の定員達成に加え、美容学科の定員達成をする。</li> </ul> |  |   |   |

(8) 財務

|   | 評価項目                                 | 評価 | 前年度 |
|---|--------------------------------------|----|-----|
| 1   | 予算計画、年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進捗管理を行っているか | 5  | 5   |
| 2   | 財務について会計監査が適正に行われているか                | 5  | 5   |
| 3   | 財務情報公開の体制整備はできているか                   | 5  | 5   |
| <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、物品や経費に関するコスト意識を持って、各職員が業務を行うようにすること。</li> <li>情報公開資料を参考に教職員間で情報共有を行い、財務状況を理解できるようにすること。</li> </ul> <p><b>取り組みと結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙のロスや物品が重複する事は無くなった。物品の発注管理者を限定した事で、無駄が省かれたと考えている。合わせて職員のコスト意識も向上している。</li> </ul> <p><b>今後の課題と改善事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き学校の財務状況については各職員が把握をし、健全な学校運営に努める。</li> </ul> |                                      |    |     |

(9) 法令等の遵守

|   | 評価項目                             | 評価 | 前年度 |
|---|----------------------------------|----|-----|
| 1   | 法令や専修学校設置基準を遵守しているか              | 5  | 5   |
| 2   | 学生指導において、学生に対して人権への配慮がされているか     | 5  | 5   |
| 3   | 学生、非常勤講師や教職員の個人情報の保護について、考慮しているか | 5  | 4   |
| 4   | 自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善につとめているか  | 5  | 4   |
| 5   | 自己評価結果を外部に対して公表しているか             | 5  | 4   |
| <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営において、学生、教職員の個人情報が漏洩しないよう最大限に配慮すること。</li> <li>・法令以外でも、学校が定めているルールを遵守するように、学生指導を行うこと。</li> </ul> <p><b>取り組みと結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報を含んだファイルには必ずパスワードをかけ、廃棄をする資料も必ずシュレッダーを活用するなど、職員の個人情報に対する意識統一は図られている。</li> </ul> <p><b>今後の課題と改善事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人と学校の SNS 活用方法について、情報漏洩が起きないように更に施策を講じていく。</li> </ul> |                                  |    |     |

(10) 社会貢献・地域貢献

|   | 評価項目                                  | 評価 | 前年度 |
|---|---------------------------------------|----|-----|
| 1 | 学校の実習施設を活用するなど高等学校の職業教育の実施に協力・支援しているか | 5  | 5   |
| 2 | 環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか     | 5  | 4   |
| 3 | 受け入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか         | 5  | 5   |
| 4 | 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか               | 5  | 4   |

#### 課題

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しつつ、安心・安全に学校見学希望者の受け入れができるようにすること。
- ・各学科は「衛生専門課程」である為、卒業後においても衛生面を考慮したプロフェッショナルな対応ができるように、学生の教育指導を行うこと。

#### 取り組みと結果

- ・校内における衛生対応は小まめに実施できてはいたが、残念ながら校外での行動に緩みがあった為、コロナ感染や濃厚接触者となる学生が出てしまった。
- ・学生が技術を施す際には、衛生面に配慮した行動が出来たと感じている。また、授業を通して、消毒や感染症についての知識も深めている。

#### 今後の課題と改善事項

- ・コロナ禍の社会状況を勘案しつつ、学園祭などの行事を通じた学校の一般開放を再開させたい。
- ・SDG s に関する意識を高めた活動が出来るように、その取り組みを策定する。